



男女共同参画 vol.27 ～自分らしく、生き生きと～

8 働きがいも 経済成長も



SDGsの目標8の「**働きがいも経済成長も**」について、男女共同参画の視点で考えてみましょう。目標8では、環境を守り持続可能な経済成長を進めること、また、すべての人が働きがいと十分な収入のある仕事につくことを課題としています。

2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成するという点は男女共同参画の考え方に結びついていくと思います。

▽ 令和4年6月4日(土)～7月2日(土)にかけて、全4回の「男女共同参画基礎講座」を行いました。

鹿児島県男女共同参画センター主催の本講座は、鹿児島市会場での対面とオンライン形式で開催され、本町はすこやか福祉センターHUBにてオンライン会場を設けました。ジェンダー平等、男女共同参画についての基本的な考え方について「知る」、ジェンダーを自分事に寄せて、

アンコンシャスバイアス(無意識の偏見や思い込み)に「気づく」、地域で身近にジェンダー平等・男女共同参画を進めるための地域づくりにどう「動く」か、をテーマに、講師のたもつ ゆかりさん、高崎 恵さんの講話を聞き、また受講者同士で話し合いながら学びました。



「男らしい仕事ができる」と言われた時、仕事を認めてもらったと嬉しかったが、それは男性の方が仕事为上という見方での表現だったと今になって大きな気づきです。

父親が育児に参加していると周りから「感心ね」と言われる。2人の子もだから同じように関わっていくのが私にとってのあたりまえでしたが、まだまだ育児は母親がすることなんだな～と感じた

共働きの世帯の場合、どちらかが扶養の範囲を超えずに働こうとするとフルタイムは難しい状況が出てきますが、改善されると良いと思う。(どちらもフルタイムで働けるように)

「女だから」「女のくせに」とよく言われていた事にいつも「なぜ?」と子どもの頃から思っていた。そう言われることに“おかしい”や“違う”と思う事に多くの女性たちにも気づいてほしい。

上記は、受講者の方からいただいた「つぶやき」です。今回は女性の参加者だけでしたので、女性目線の声になりましたが、女性・男性関係なく、多種多様な一人ひとりが生きやすい社会になるよう、まずは身近な家族や友人、職場の仲間同士からお互いを思い合ってみてはいかがでしょうか。また、「男女共同参画について全町民に考えてほしい!」との声もありました。支え合うきっかけとして住民が集まる場づくりは大切だと感じます。今回の講座のように男女共同参画についてのイベント等がある際は、広報紙や瀬戸内町のホームページなどでも紹介させていただきますので、皆様のご参加をお待ちしています!